PM学科　1142009　安藤勇樹

1. 視線検出装置を活用した陳列マーケティングの提案
2. 背景

　商品を陳列する順序は売上に直結する重要な要素である．一般的に，視認率に売上は比例する．商品を消費者が手に取りやすく，目に付きやすい場所に陳列することによって売上を伸ばすことができる．そのため，消費者がどのような商品や陳列棚を見ているのかを知ることは重要である．

　そこで，視線検出装置を活用することによってマーケティング情報を収集する．消費者の視線の先を調査できれば有用なマーケティング情報を得られる．

<http://jstore.jst.go.jp/nationalPatentDetail.html?pat_id=13891>